

# 社会教育主事有資格教員の活動事例

## 1 学校で生かす

### 1- (2) 地域の教育力を学校へ

★学校支援ボランティアを受け入れる組織的な学校態勢を整え、地域の教育力を生かす原動力となっている。

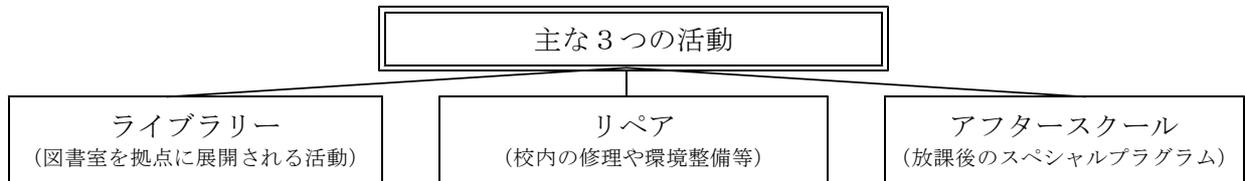
高根沢町立阿久津中学校 大嶋 丘 校長  
山口 昭子 教諭  
榎本 千秋 教諭

#### 【活動の概要】

◇学校支援ボランティアの発足

高根沢町立阿久津中学校の学校支援ボランティアは、平成14年度の家庭教育学級の研修の一つとして、鹿沼市立北犬飼中学校への研修旅行へ参加した際に、北犬飼中学校のボランティアの方々の活動に共鳴した保護者が中心となって発足した。

◇学校支援ボランティアの活動内容



図① 学校支援ボランティアの活動内容

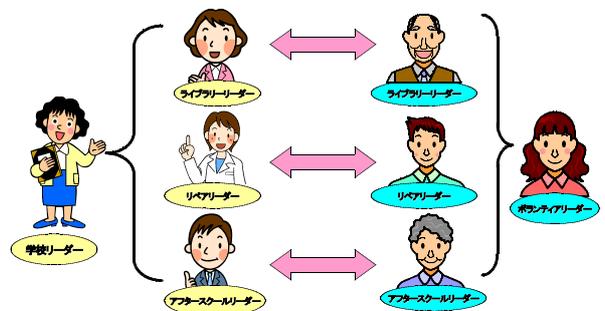
◇学校側の態勢づくり (社会教育主事有資格教員の役割)



図② 学校側の態勢づくり

地域の教育力を生かすために社会教育主事有資格教員の取組として、図②に示すやる気の「種をまく」、やる気を「育てる」、やる気を「支える」の3点について特に心がけて活動してる。

また、図③のように組織的な学校態勢でボランティアに対応し、3つの活動ごとに担当教員を割り当て、それぞれのリーダーを決めている。いわゆる「コーディネーターズ」をつくり、組織的に活動することによって、一人一人の負担も少なくなり、さらに担当教員の意識も向上している。



図③ 学校の組織的な対応

## 1 学校で生かす 1 - (2) 地域の教育力を学校へ 事例集①

- ★教科指導や総合的な学習の時間、生活科などで、地域にいる教育ボランティアを導入するように、先生方に働きかけ、導入（活用）へ向けての支援をした。（佐野市立栃本小学校 須藤 幸男 校長）
  
- ★社会教育施設の活用（青年の家、町の図書館、郷土資料館等）。地域の教育力の活用（地域人材とのT.T授業、クラブ活動、学校ボランティアの育成、組織）。児童の地域参加（郷土芸能への児童参加）（真岡市立山前南小学校 秋山 和一 校長）
  
- ★PTA活動で行っていた読み聞かせを、地域の方々の参加も募り、活動を広げようとボランティア団体「つくしんぼ」を立ち上げた。総勢20名が週1回全学級で活動している。読書週間に合わせ紙芝居村を開くなど充実した活動を行っている。（日光市立栗山小学校 芳賀 智一 教諭）
  
- ★学校支援ボランティアの立ち上げに際し、各学年から出された希望人材の内容項目をもとに保護者や地域に働きかけた。登録いただいた100名からなる地域の商店や技能を持った方々の協力を得て、学習に幅と深みが生まれた。（日光市立今市小学校 菅田 晃章 教諭）
  
- ★夏休み特別教室の企画運営をした。地域の方をボランティア講師（無償）として招き、絵画教室書道教室（各自が夏休みの課題を持ってきて指導を受ける）、パソコン教室（暑中見舞いの作成）、料理教室（ヘルシーなおやつづくり）を実施し、延べ130人が参加した。（鹿沼市立菊沢西小学校 大出 忠央 教頭）
  
- ★子ども科学クラブを開催し、今年で3年目を迎える。4年生以上を対象に公募し、毎月第一月曜日の6校時に活動している。現在は、10名が活動中。科学と子どもたちが大好きな学校支援ボランティアに登録している地域の方が毎回楽しい実験をし、子どもたちは楽しく活動している。（壬生町立羽生田小学校 大橋 渉 教諭）
  
- ★学校支援委員会をPTAと協力して立ち上げた。活動は土曜日に児童対象の活動講座のコーディネート中心。（益子町立益子小学校 関本 辰男 教諭）
  
- ★地域人材活用授業一覧を作成し、毎年更新している。学校支援ボランティアを活用する場を計画的に設定している。（真岡市立中村南小学校 中山 真理子 教諭）
  
- ★人材バンク等、地域の方と共に授業や学校行事を協力して展開したこと。（二宮町立久下田中学校 栗原 隆 教諭）
  
- ★地域の教育力の活用（学習支援ボランティア、学校支援ボランティア）の立ち上げと活用。（下野市立南河内中学校 秋山 実 教諭）

## 1 学校で生かす 1 - (2) 地域の教育力を学校へ 事例集②

- ★校内や学区内・地域の人々に指導を仰ぎながら、子ども版生涯学習「サマーチャレンジ」を夏休みの2日間実施した。  
(大平町立大平南小学校 武井 健智 教諭)
  
- ★5年生総合的な学習の時間「古代米の栽培活動」。地域の方で実行委員会を組織し、活動をバックアップ。播種～田植え～稲刈り～もちつきまで指導を受ける。  
(小山市立寒川小学校 星野 弘志 教諭)
  
- ★学校行事として実施される「親子の集い」「高齢者学習」など、また、総合的な学習の時間での活動において、市や地区（公民館）保有の物品（ニュースポーツ～カローリング、グランドゴルフなど）や人材の情報を知り、有効に活用する機会が増えた。  
(日光市立湯西川小学校 山田 修 教諭)
  
- ★生涯学習課と協力して活動を組む。町の所有しているスポーツ用具を学校教育で活用する。具体的には、プールでカヤック教室を開催したり、カヤック、ターゲットバードゴルフ、ドッチビーなどをクラブ活動で活用したりしている。  
(藤岡町立藤岡小学校 川島 宗竹 教諭)
  
- ★クラブ担当と相談し、ニュースポーツクラブをつくり、市の生涯学習課から道具を借用してニュースポーツの普及に努めた。矢小祭では、出し物として児童保護者などにも紹介した。  
(矢板市立矢板小学校 飯山 忠男 教諭)
  
- ★地域の元教員や家庭相談員等を招いて、音楽指導や実験、制作活動のお手伝いをいただいた。登山指導に自然の家職員のお手伝いをいただいた。文化祭で地域人材の協力をいただき、ブライندウォークなど福祉活動やクワガタの育て方などのコーナーをつくった。幼稚園児も招いた。  
(那須塩原市立塩原中学校 石田 和美 教諭)
  
- ★学校支援ボランティア養成講座の最終回において、ワークショップを実施。受講したことで生じた気づき、心の変化、疑問などを受講生同士で共有し「ボランティアとは何か？」をまとめた。  
(国分寺養護学校 池田 隆宏 教諭)